

想像をカタチにする

KOMURA

床走行式移動用リフト

独立宣言[®]
JDD

品番 : DSCO
取扱説明書



保証書つき

保管用

- 本製品の機能を十分ご理解いただき、安全にご使用いただくために、この取扱説明書をお読みのうえ、正しくお使いください。
- この説明書は大切に保管し、必要なときお読みください。

安全上のご注意

必ずお守りください。



警告



禁止

- 傾斜した場所や、不安定な場所で使用しない
いすが不意に移動したり、転倒し、けがをするおそれがあります。
- 踏み台にしたり、肘掛けに座るなど、目的の使いかたをしない
足をすべらせたり、いすが転倒し、けがをするおそれがあります。
- 許容荷重（100kg）以上の体重の人は使用しない
いすが破損・故障し、けがをするおそれがあります。
- ひざに座らせたり、2人以上で座らない
転倒したり、いすから落ちるなど、けがをするおそれがあります。
- 座板下降時、座板の下に足などを入れない
座板と脚部や床の間にはさまれ、けがをするおそれがあります。
- 座板の端に座ったり、座板や肘掛け、フットレストの片側だけに衝撃や負荷をかけない
座板からすべり落ちたり、いすが転倒し、けがをするおそれがあります。
- いすに飛び乗ったり、故意に勢いをつけて座ったりしない
いすが破損・転倒し、けがをするおそれがあります。
- お子様を本体の上で遊ばせたり、背もたれや肘掛けの上に乗ったり座ったりさせない
いすから落ちたり、いすが転倒し、けがをするおそれがあります。
- いすを持ち上げて運ぶ際は、2人以上で行ない、必要以上の衝撃を与えない
いすが破損し、故障の原因となります。
- フットレストの上に立ち上がらない
いすが破損・転倒し、けがをするおそれがあります。
- 高速（2 km/h以上）で走行させない
衝突・転倒したり、いすが破損・故障し、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けをはね上げた状態で、人をのせて移動しない
転倒し、けがをするおそれがあります。



分解禁止

- 分解・修理・改造は絶対にしない
発火したり、異常動作し、けがをするおそれがあります。



指に注意

- 昇降時や移動時、隙間（特に背もたれと本体の隙間）に指などを入れない
指などをはさみ、けがをするおそれがあります。
- 肘掛けや座板の折り曲げ時、可動部に指などを入れない
指などをはさみ、けがをするおそれがあります。

お使いになる人や、他の人への危害や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただき内容を次の要領で説明しています。

■説明内容を無視し、誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を、下の表示（絵表示と用語）で区分し、説明しています。

	警告	誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。
	注意	誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）

	気をつけていただきたい 「注意喚起」内容を説明しています。		してはいけない「禁止」 内容を説明しています。		必ず実行していただく「強制」 内容を説明しています。
---	----------------------------------	---	----------------------------	---	-------------------------------


必ず実行

**警告**

- 下記の人がひとりで使用する時は、必ず周囲の人が注意・介護する
(1) お年寄 (2) 体の不自由な人 (3) お子様
- 周囲に人がいたり、物がある場所では十分に注意する
昇降時、移動時、いすがまわりの人に当たってけがをさせたり、
座っている人がまわりの物に当たってけがをするおそれがあります。
特に下降時は、座板の下に何も無いことをご確認ください。
- 移動する時は、必ず介護する人が両手で移動用ハンドルを持つ
ひとりで足をつきながら移動すると、衝突・転倒し、けがをするおそれがあります。
- 移動する時以外は、ブレーキをかける
いすが不意に移動して、衝突・転倒し、けがをするおそれがあります。
- 立つ・座る時は、必ずフットレストを外す
フットレストにつまづいて転倒し、けがをするおそれがあります。
- 座板に座った状態ではフットレストを着脱せず、介護者が着脱する
転倒・破損し、けがをするおそれがあります。
- 人をのせて移動する時は、必ずフットレストを使用する
足をはさんだり、転倒し、けがをするおそれがあります。
- 人をのせて移動する時は、必ずメインスイッチを切る
いすが不意に昇降して、衝突・転倒し、けがをするおそれがあります。
- 座板を床面まで下ろして使用する時は、フットレストを取り外す
座板とフットレストの間にはさまれ、けがをするおそれがあります。
- 移動する時は、周囲に段差がないことを確認する
段差を乗り越えられずに転倒・破損し、けがをするおそれがあります。
- 段差には段差解消スロープなどを設置する
段差を乗り越えられずに転倒・破損し、けがをするおそれがあります。
- 本体にバッテリーを差し込む時は、バッテリーの向きに注意する
間違った向きで無理に押し込むと、破損し、発火のおそれがあります。
- バッテリーは、確実に最後まで差し込む
ショートや発火のおそれがあります。
- バッテリーケースは常に清潔な状態を保つ
ホコリがたまった状態で使用すると感電やショート、発火のおそれがあります。
- 動かない場合や、異常を感じた時は使用を中止し、すぐにメインスイッチを切ってバッテリーを抜く
感電や発火のおそれがあります。ただちに点検・修理を依頼してください。

安全上のご注意

必ずお守りください。



注意



禁止

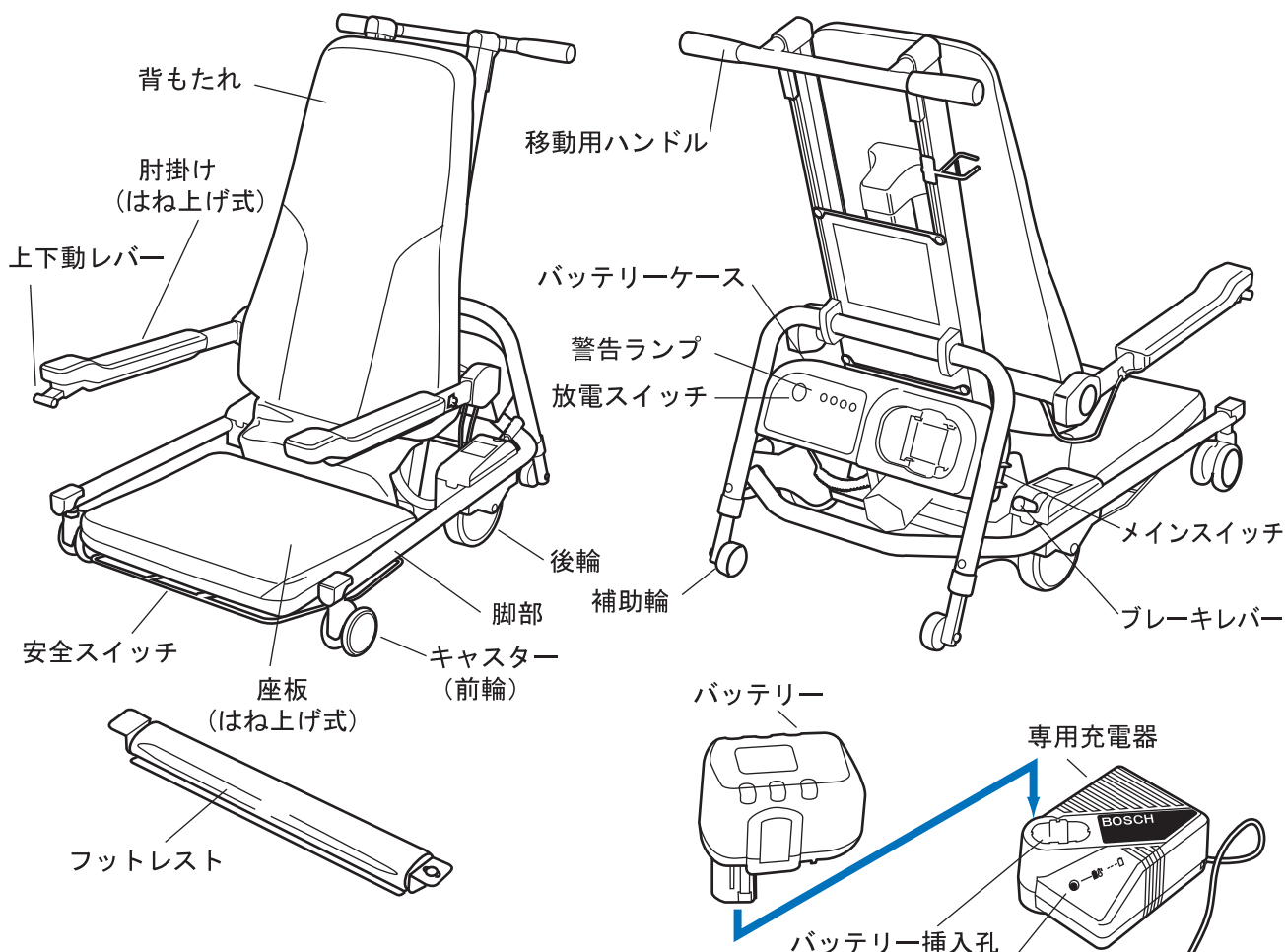
- 火気を近づけない
発火のおそれがあります。
- 座板を一番下に下げた状態では移動させない
座板下部の安全スイッチが破損・故障し、けがをするおそれがあります。
- 2分以上の連続運転はしない
故障の原因となります。
連続運転が2分以上におよんだ時は、11分以上休止させてください。
- バッテリーケースを傷つけたり、破損させたり、加工したりしない
火災や感電の原因となります。
- コードを無理に引っ張らない
破損し、故障の原因となります。
- 屋外や高温・多湿な場所で使用・保管しない
感電および故障の原因となります。



必ず実行

- 専用の充電器やバッテリーを使用する
破裂し、傷害や損傷を及ぼすおそれがあります。
- 損傷した部品がないか点検する
使用前に、バッテリーケースやその他の部品に損傷がないか、十分点検し、正常に作動するか、また所定の機能を発揮するか確認してください。
本体が破損し、けがをしたり、感電やショート、発火のおそれがあります。
- 本体・バッテリーの廃棄に関しては、自治体の条例に従う
詳細な内容に関しては、販売店にお問い合わせください。
- お手入れの際は、必ずメインスイッチを切り、バッテリーを本体から抜く
感電および故障の原因となります。

各部のなまえ



仕様

サイズ	615 (幅)×850 (奥行)×860 (高さ)mm
重量	29kg
最大許容荷重	100kg
最大ストローク	385mm
入力電圧	AC100V 50/60Hz (充電器)
昇降速度	18mm/sec.
座面高さ(最低高)	135mm (座板中央上面)
座面高さ(最高高)	520mm (座板中央上面)
定格時間	2分

品質表示

構造部材	機構部 金属 (鋼・アルミニウム合金)
	背もたれ部 合板
	座部 金属 (鋼)
	肘掛け部 ABS樹脂 カバー ABS樹脂
表面加工	メラミン樹脂塗装・アクリル樹脂塗装
張り材	ポリ塩化ビニル
クッション材	ウレタンフォーム・鋼製パネ

※バッテリー・充電器の取り扱いは充電器に付属の取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。



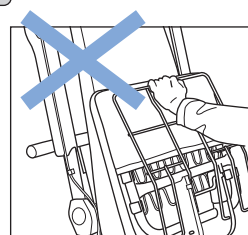
警告

- 肘掛け・座板のはね上げ時、可動部分に指などを入れない指などをはさみ、けがをするおそれがあります。また、はね上げた肘掛け、座板の落下には注意してください。



警告

- はね上げた座板を元に戻すときや本体を持ち運ぶするときなどは、座板裏の安全スイッチ用のバーを絶対に持たないでください。バーが変形し、はさまれ防止の安全機構が動かなくなることがあり、けがをするおそれがあります。



バッテリーを取り付ける

バッテリーを充電する

- 初めてお使いの時は、まずバッテリーを充電します。充電器に付属の取扱説明書をよくお読みの上、バッテリーを充電してください。（充電時間は約60分）

お願い

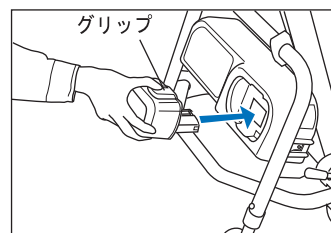
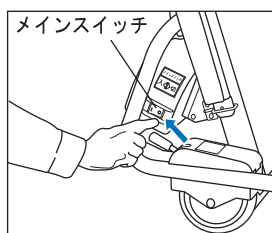
- お買い求めいただいてすぐのバッテリーまたは長期間使用していなかったバッテリーは、「トリクル充電」を行なうと、活性化し、十分な能力を発揮します。
※トリクル充電する
バッテリーを充電し、充電完了後も一昼夜充電することで活性化されます。

警告

- バッテリー容量が不十分（警告ランプの赤とオレンジが点灯）な状態では使用しない
座板の昇降途中にバッテリーが切れ、停止するおそれがあります。
- 専用の充電器やバッテリーを使用する
破裂し、けがや破損するおそれがあります。

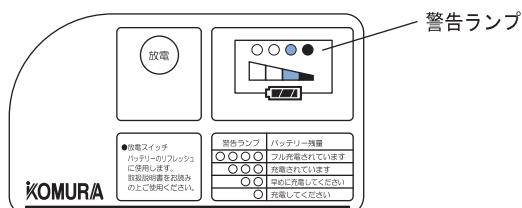
バッテリーを取り付ける

- メインスイッチが「切」になっていることを確認し、図に示す方向でグリップを握り「カチッ」と音がするまで差し込みます。



バッテリーの残量を確認する

- メインスイッチを入ると、警告ランプが全て点滅したのち警告ランプの表示と警告ブザーでバッテリーの残量をお知らせします。
残量は下の表のようになります。



警告ランプの点灯	警告ブザー	バッテリー残量
あり ○ ○ ○ ○	なし	フル充電されています
○ ○ ○	なし	充電されています
○ ○	単音 2 回 (5 秒間隔)	早めに充電してください
なし ○	速い連続音 (0.3 秒間隔)	充電してください

※赤の警告ランプのみが点灯した状態では動きません。
また完全に残量がなくなると自動的にメインスイッチが切れます。
(バッテリー残量がない場合は警告ランプは点灯しないことがあります、故障ではありません)
表示された残量は使用状態などにより、若干の誤差があります。

バッテリーを本体から抜く

- バッテリーのグリップを上下ともに押しながら引き抜きます。

残量保護機能

- メインスイッチは残量保護のため、一定時間（10時間）を超えると自動的に切れます。
- 警告ランプ表示は残量保護のため、30秒以上上下動レバーの操作を行わないと自動的に消灯します。
上下動操作を行うと再び点灯します。

バッテリーのリフレッシュ

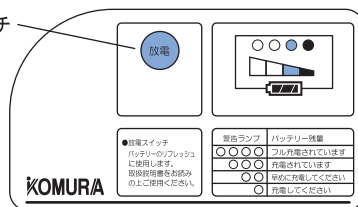
お願い

- バッテリーの容量が残っている状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が発生して早めに残量警告が出る場合があります。
放電モードにし、バッテリーの容量を空にしてから充電することで、バッテリーがリフレッシュされ正常な状態に戻ります。
- ※メモリー効果：バッテリーの容量が見かけ上減少したような特性を示す現象

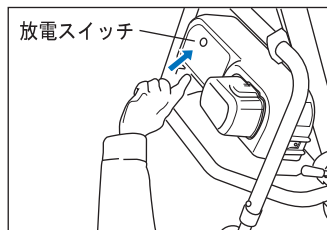
バッテリーをリフレッシュする

1. バッテリーをバッテリーケースに挿入します
2. 放電スイッチを押し続けながらメインスイッチを入れると3秒後に放電モードとなり、警告ランプが赤から順番に点灯し放電中であることをお知らせします。
3. 放電が完了するとメインスイッチが自動的に切れ、放電モードが終了します。
(放電時間はフル充電状態で約11時間)
4. 充電器に付属の取扱説明書をよくお読みの上、バッテリーを充電してください。
(充電時間は約60分)

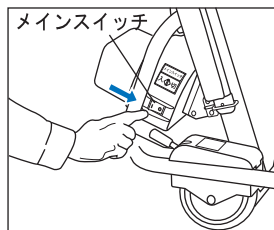
放電スイッチ



放電スイッチ



メインスイッチ



お願い

- ※放電モード中は上下動レバーの操作を受け付けません。
- ※放電モードはメインスイッチを切ると解除されます。

その他の警告

お願い

- 連続運転の警告
2分以上連続、または十分な休止をとらずに累積して2分以上使用した場合、警告ランプおよび警告ブザーの音（1秒間隔）でお知らせします。
この場合上下動レバーの操作をやめ、11分以上休止させてください。
3分以上連続または十分な休止を取らずに累積して3分以上使用した場合、昇降動作を停止します。

使いかた

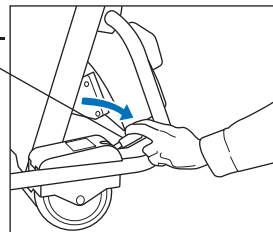
- メインスイッチを入れる。
- ブレーキレバーを後方へたおし、ブレーキをかける。
またはブレーキがかかっていることを確認する。



警告

- 移動するとき以外は、ブレーキをかける
いすが不意に移動して、衝突・転倒し、けがをするおそれがあります。

ブレーキレバー

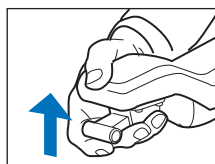


座る

1

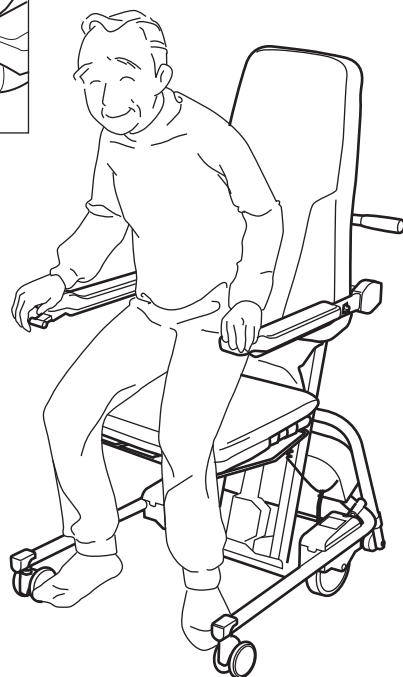
上下動レバーを上へ押す。

- 肘掛けの裏にある上下動レバーを上へ押し
続け、座板を座りやすい位置まで上げて
おきます。



警告

- 座板の端に座ったり、座板や肘掛け、フットレストの片側だけに
衝撃や負荷をかけない
座板からすべり落ちたり、いすが転倒し、けがをする
おそれがあります。



2

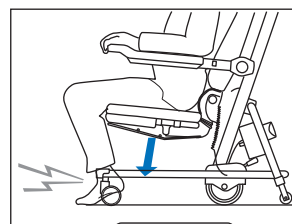
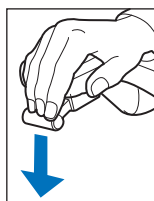
腰をおろす。

- 肘掛けに手をそえて静かに腰をおろします。
- 足腰に負担をかけることなく座板に腰をお
ろすことができます。

3

上下動レバーを下へ押す。

- 肘掛けの裏にある上下動レバーを下へ押し
続け、（指を離せば止まります）座板を
お好みの高さまでおろしてください。



警告

- 座板下降時、座板の下
に足などを入れない
座板と脚部や床の間
にはさまれ、けがをする
おそれがあります。

座板下の安全バーに足や物がはさまれると、安全スイッチが働き、座板は自動的に止まります。

使いかた

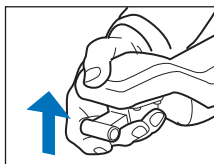
.....

立つ

1

上下動レバーを上へ押す。

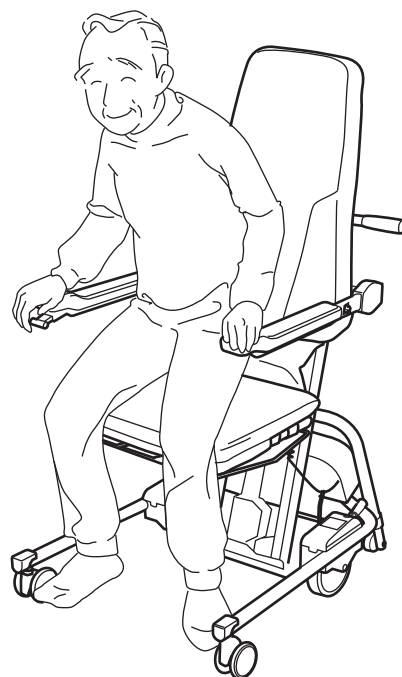
- 肘掛けの裏にある上下動スイッチのレバーを上へ押し続け、座板を立ちやすい位置まで上げます。



2

腰を上げる。

- 肘掛けに手をそえて静かに腰を上げます。



警告

- 下記の人がひとりで使用するときは、必ず周囲の人が注意・介護する
(1) お年寄 (2) 体の不自由な人 (3) お子様
事故や体調不良をおこすおそれがあります。

使いかた

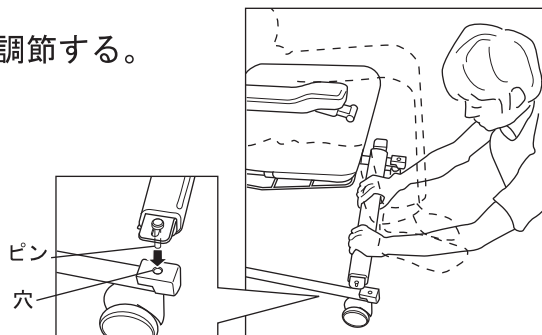
移動する

- メインスイッチを入れる。
- フットレストを使用できる高さに座板を調節する。
- メインスイッチを切る。

●フットレストを取り付ける。

フットレストのピンを脚部の先端の穴に差し込みます。

※フットレストのピンは、左右で構造が異なりますが、どちらでも使用できます。



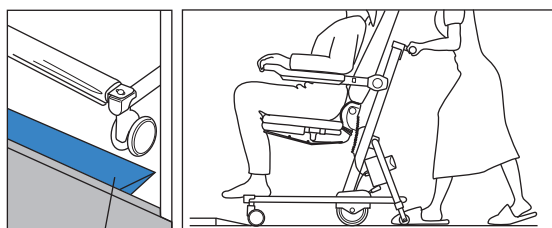
警告

- フットレストの上に立ち上がらない
いすが破損・転倒し、けがをするおそれがあります。
- 人をのせて移動するときは、必ずフットレストを使用する
足をはさんだり、転倒し、けがをするおそれがあります。

- ブレーキレバーを前方へたおし、ブレーキを解除する。

●移動用ハンドルを両手で押して移動する。

※段差は段差解消スロープ等を設置ください。
移動中、段差にキャスターが当たると、段差を乗り越えられず、座っている人が転倒したりして危険です。



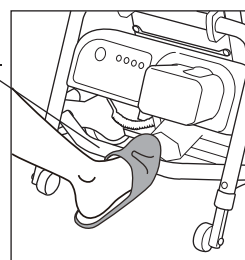
警告

- 段差には段差解消スロープなどを設置する
段差を乗り越えられず、座っている人がいすから落ちたりし、けがをするおそれがあります。

※段差を乗り越えるときは、ティッピングバーにしっかりと足をかけ、ハンドルを後ろの方向に引くと、より操作が楽になります。

段差解消スロープ

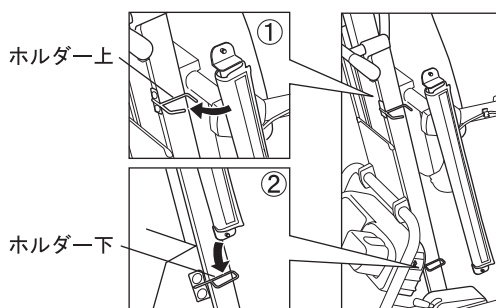
ティッピングバー



フットレストの収納

- フットレストを使用しないときは、右図のように収納することが出来ます。

1. フットレストの上側を①ホルダー上にはめ込みます。
2. フットレストの下側を②ホルダー下に差し込みます。



上下動レバーの入れ替え

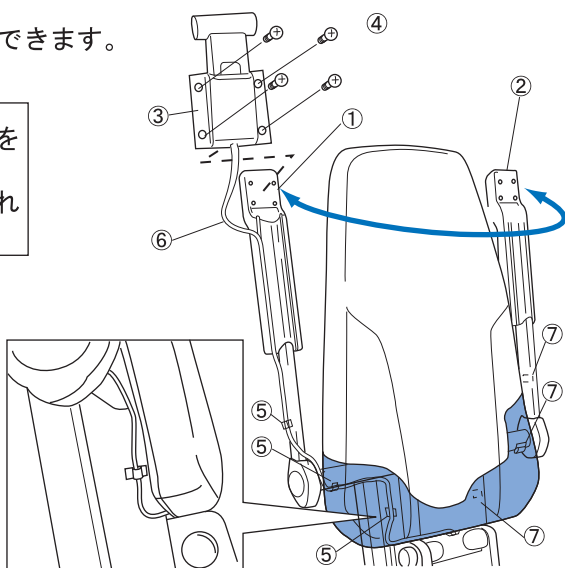
●上下動レバーは、通常は右手側の肘掛けにあります。お好みにより左手側に付け替えることができます。



警告

上下動レバーの入れ替え作業は、必ず右左の肘掛けをはね上げた状態で行ってください。
コードが無理に引っ張られ、動作不良をおこすおそれがあります。

1. ①②右手左手側の肘掛けをはね上げます。
2. ③上下動レバーを固定している④ネジ(4本)を
⊕ドライバー(No. 2)で取り外します。
3. ⑥コードを①右手側肘掛けのみぞと、
⑤クリップ右(3ヶ所)から抜きます。
4. ③上下動レバーを②左手側肘掛けに
④ネジ(4本)でしっかり固定します。
5. ⑥コードを②左手側肘掛けの外側のみぞと、
⑦クリップ左(3ヶ所)に差し込みます。



こんなときは・・・

座板が上下しないとき

- バッテリーがきちんと挿入されていますか？
→バッテリーを奥まで差し込んでください。
- バッテリーが十分に充電されていますか？
→バッテリーを充電してください。
- メインスイッチが「入」になっていますか？
→メインスイッチを入れてください。
- 下降しない 座板下の安全スイッチが
動いていませんか？
→座板の下に足や物などを入れないでください。
- 座板がはね上がった状態になっていませんか？
→はね上がった状態では上下しないことがあります。

お手入れのしかた

- 水または中性洗剤を含ませた柔らかい布で、軽く拭いてください。
- ベンジン・シンナー・ワックス・化学ぞうきんなどで拭いたり、
たわしでこすったりしないでください。
- お茶やコーヒーなどをこぼしたときは、乾かないうちによく拭き
とってください。

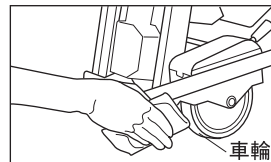
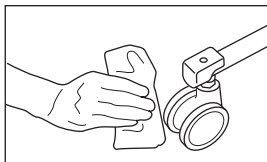
キャスター・車輪

- キャスターや車輪に髪の毛やホコリなどのごみや汚れが付着した
場合は、水または中性洗剤を含ませた柔らかい布で、軽く拭いて
ください。
特に車輪が汚れているとブレーキの働きが悪くなる場合があります
ので、こまめに清掃してください。
また、拭き取りにくい部分のごみは、掃除機のすき間用ノズルで
吸い取るなどしてください。



警告

- ブレーキが確実に動くか確認する
いすが不意に移動して、衝突・転倒し、
けがをするおそれがあります。



点検後、なお異常があったら

ただちに使用を中止し、事故防止のため、必ず販売店に点検・修理を依頼してください。